

英語

受験番号：

氏名：

実施日 2024 年 9 月 11 日（水）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子 1 冊（問題文 3 ページ）、解答用紙 1 枚です。
3. 全てに受験番号と氏名を記入してください。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答を終えたら、問題冊子、解答用紙の順に机の上に重ね、時間の終了を待ってください。
6. 試験終了後、この問題冊子を回収します。
7. 何か疑問な点があれば静かに挙手をし、監督者の指示に従ってください。
8. 不正行為について
 - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取り止めさせ退室させます。

第 I 問 2023 年に『心理臨床学研究』に掲載された次の論文要旨を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により、当該部分は掲載しておりません。

(出典: Yoshioka, Y. (2023) The relationship between over-adaptive tendencies and emotions in dreams among college students. *Journal of Japanese Clinical Psychology*, 41(4), 362-372.より、引用)

問 1 下線部ア～カの訳語を、日本語で答えなさい。

問 2 本論文の研究目的は何か、日本語で答えなさい。

問 3 本論文の研究方法は何か、日本語で答えなさい。

問 4 本論文の研究結果と考察は何か、以下の文章の正誤を○×で答えなさい。

- A) over-adaptive 群、他者志向群、自己主張群、非 over-adaptive 群の 4 群が抽出された。
- B) over-adaptive 群は、他の群に比べて、夢の中の感情をより強く感じていた。
- C) 夢の中では他者への配慮や外界への適応に向けて意識的に努力をする必要がないため、自らの感情に気づきやすくなることや、夢の compensatory function との関連性が考えられる。
- D) over-adaptive 傾向と psychological boundaries の強さとの関連が、受身的に体験されやすい感情の強さに影響していると思われる。
- E) 心理療法においては、夢を感情に焦点を当てて扱うことが有用であると考えられる。

第Ⅱ問 次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により、当該部分は掲載しておりません。

(出典: Roesler, C. (2020) Jungian theory of dreaming and contemporary dream research. *Journal of Analytical Psychology*, 65(1), 44-62. より、引用)

問 1 下線部ア～オの訳語を、日本語で答えなさい。

問 2 下線部①を日本語に訳しなさい。

問 3 本文で記述されているフロイトとユングの夢に関する考え方について、以下の文章の正誤を○×で答えなさい。

- A) フロイトは夢見には無意識的な意味を変形させることによって睡眠を保護する機能があると考えていた。
- B) ユングは無意識も含めた心の未来の状況の全体像として夢を捉えた。
- C) ユングは後に夢は自我意識の態度に妥協をもたらすものであると付け加えた。
- D) フロイトは夢をその意味を隠すものとしてみたが、ユングは夢は無意識を明らかにするものだとみていた。

問 4 下線部②を日本語に訳しなさい。

問5 ユング派の観点から、筆者が提示している興味深い問いは何か？ 以下の問いの正誤を○×で答えなさい。

- A) 夢自我と意識の強さ、および心の他の部分の関係はどのようなものか
- B) 夢の中の自我は心の他の部分に対処することができるのか
- C) 夢の中の自我は心の他の部分を統合することができるのか
- D) 心の他の部分は自我を治療するものとして出てくるのか

問6 下線部③を日本語に訳しなさい。